長崎新聞
電子号外
2006年9月26日（火）発行

安倍内閣 顔ぶれ決まる

久間氏は防衛庁長官

財務相に尾身氏、麻生外相再任

自民党の安倍晋三総裁（52）は26日午後、衆院本会議で第90代、57人目の首相に選出された。

衆院本会議で新首相に指名され、起立して一礼する自民党の安倍晋三総裁＝26日午後1時36分

安倍氏は直ちに、首相官邸で組閣作業に着手、内閣の顔触れを決めた。

財政再建を担う財務相には尾身幸次元科学技術担当相（73）、総務相に菅義偉総務副大臣（57）、教育基本法改正を手掛ける文部科学相は伊吹文明元労相（68）を充てた。靖国神社参拝問題で冷却化した中国、韓国との関係改善が焦点の外相には、麻生太郎外相（66）を再任。経済財政担当相に元内閣府政策統括官で政策研究大学院大教授の大田弘子氏（52）を登用した。

社会保険庁改革を抱える厚生労働相に自民党税制調査会長の柳沢伯夫氏（71）、米軍再編が本格化する防衛庁長官は経験者の久間章生氏（65）を起用した。経済産業相に甘利明元労相（57）。政策調整の要を担う官房長官に塩崎恭久氏（55）、拉致問題担当相も兼ねる。公明党の冬柴鉄三前幹事長（70）は国土交通相で初入閣。

長勢甚遠法相（62）、松岡利勝農相（61）、山本有二金融担当相（54）、佐田玄一郎行革担当相（53）、高市早苗沖縄北方担当相（45）、参院から若林正俊環境相（72）、溝手顕正国家公安委員長（64）も初入閣。

同日夜の首相任命式、閣僚認証式を経て、自民、公明両党連立の安倍内閣が発足。また拉致問題担当の首相補佐官に元内閣官房参与の中山恭子氏（66）を指名した。

※詳細は9月27日付の長崎新聞でご覧ください。

長崎新聞社制作